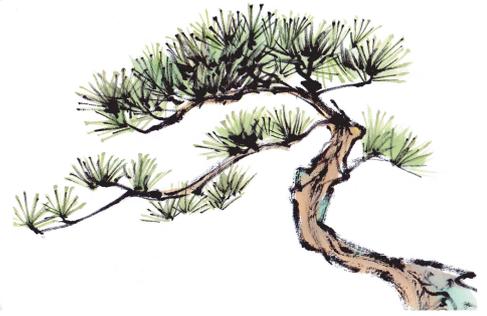




あけましておめでとうございます

旧年中は格別のお引き立てを賜り 誠にありがとうございました。
本年もなお一層の努力をし、皆さまにとって、よりよいセンターで
あるよう励みたいと思います。
どうぞ、変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



東海医療学園総合臨床センター スタッフ一同

ひとしんせい 「人新世」の環境危機を乗り越えるために！

昨年、わが国では菅新政権が誕生しました。米国では今年バイデン新大統領が就任します。両国民は新たなリーダーに何を期待しているのでしょうか。新型コロナウイルス感染防止対策か、安全保障か、それとも経済発展か。いずれにせよ、平和で安全な暮らしができるような政策を多くが求めていることでしょう。

そんな中、全世界の人々が国の指導者に対して最も期待することは、気候変動に対する真摯な取り組みではないでしょうか。気候危機はすでに始まっており、熱波や大型台風などによる甚大な被害は周知のとおりです。

標題の「人新世」とは、人間の活動の痕跡が地球の表面を覆いつくした年代を意味します。（「人新世の資本論」 斎藤幸平著より） 私たちは豊かな生活を求めて経済成長を続けてきましたが、その結果として、地球そのものを破壊し続けてきたのです。パリ協定の目標（世界の平均気温を産業革命以前に比べて 1.5 度以下に）を達成するには、2050 年までに世界全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする必要がありますが、果たして実現可能か、それにはどうすべきか？ 斎藤氏によれば、電気自動車や再生可能エネルギーなどの“緑の経済成長”やSDGsのように、経済成長を進めながらCO2排出量を削減することは幻想であるとしています。では、どうしたらよいか？そのカギは「脱成長」であり、マルクスの「資本論」にその方途が示唆されているというのが氏の主張です。

バルセロナでは昨年「気候非常事態宣言」を発し、2050 年までの脱炭素化に向けた行動計画が動き始めました。「脱成長なんて無理！」と思うかも知れませんが、全体のわずか 3.5%の人が本気で立ち上がると社会が大きく変わるとのこと。
私たちが本気で立ち上がる時が来たようです。



【1月の休診日】

1/1(金)~1/4(月) 冬季休業

10日(日) 11日(祝)

17日(日)

24日(日)

31日(日)



当センターでは昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症への予防対策を徹底させてまいります。
皆さまにもご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【新型コロナウイルスに対する取り組み】

- 1, 施設内、施術に使用する備品、器具等の消毒
- 2, 定期的な換気、「高性能除菌」「空気清浄機」「加湿器」の稼働
- 3, 施術者、スタッフの健康管理と消毒、マスクの着用の徹底
- 4, 患者様の体調チェックと手指消毒、うがいをお願い

杉山 誠一

(すぎやま せいいち)

出身地：静岡県

東海医療学園専門学校
学校長

